プロジェクトⅦ 日光市「女性の活躍」応援プロジェクト事業報告会

主催/日光市・日光市男女共同参画社会づくり市民会議

【男女共同参画社会づくりフォーラムin日光】

男女共同参画について市民自らが考え学ぶ学習機会であるフォーラムにおいて、6つのプロジェクト事業のうち、代表して2つのプロジェクト事業参加者が参加報告を行い、女性活躍推進に向けての意気込みを会場に呼びかけます。

日 程 3月9日（土） **会 場** 日光市今市文化会館 **参加者** 一般市民　約300名予定

報告者 プロジェクトⅥ　男女共同参画セミナー高校生編/栃木県立今市高等学校　第1学年
プロジェクトⅢ　キャリア・マネジメント講座/参加者代表　見龍堂メディケアユニッツ　青木友貴絵氏

後援／日光商工会議所、日光市工業連絡協議会、（一社）日光青年会議所、日光市農業士会、日光市自治会連合会、日光市女性団体連絡協議会、ニコニコの会、日光市校長会、日光市教頭会、日光市幼稚園・保育園・小学校連携推進委員会、日光市PTA連絡協議会、栃木県男女共同参画地域推進員日光市連絡会、日光人権擁護委員協議会、日光市農業農村男女共同参画推進委員会

事業目標

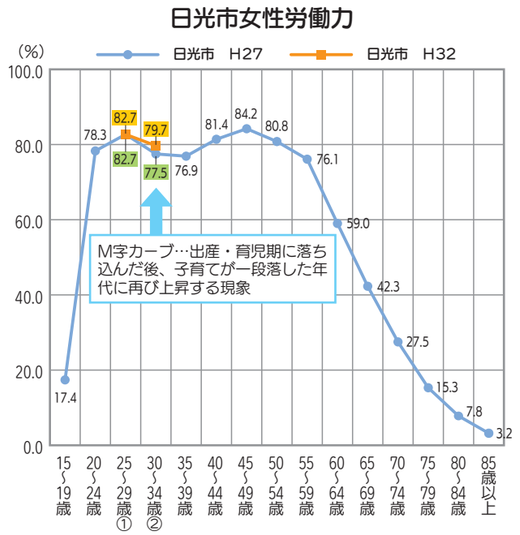
女性が輝き、活躍するまちの実現により、これまで以上に強く豊かな「日光市」を目指します！

★ 女性活躍の『3つ』のカギ ★

①働き方の改革
ワークライフバランスを推進し、時間や場所に縛られない多様な働き方を進め、日光市全体の社会的機運を高めます。

②人材育成
女性の能力開発、意識改革、さらに、企業間交流によるネットワーク形成の機会を提供し、女性のキャリア形成を支援します。

③若い世代の方に向けたワークライフバランスの普及
将来、社会の担い手となる若い世代の方に、ワークライフバランスの意義や重要性を理解し、就職する前から長期的な視野で人生を考えるよう働きかけます。



日光市の女性労働力率（国勢調査）が描く「M字カーブ」の底となる②30～34歳の数値を、①25～29歳の数値から3ポイント以内の変動に留めることを目指します。

日光市女性の活躍推進ガイドブックをご紹介します

事業所などにおける女性の活躍を推進するためのガイドブックです。

掲載内容
- 女性活躍に関する現状把握・課題分析ができるチェックシート
- 女性活躍を推進するための具体的な取組事例　など

ワークライフバランスや女性の人材育成などの各分野でご活躍されている方々による、女性リーダーになるための心構えやワークライフバランスの取組方法などを紹介した記事もあります。

ぜひ、当ガイドブックをご覧いただき、女性の活躍の取組にご活用ください。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

https://www.city.nikko.lg.jp/jinkendanjo/jyoseinokatuyakusuisinn.html

日光市「女性の活躍」応援プロジェクト
主催／日光市
健康福祉部　人権・男女共同参画課
産業環境部　商工課
共催／日光商工会議所
足尾町商工会

●平成31年2月発行●

健康福祉部 人権・男女共同参画課
〒321-1292　栃木県日光市今市本町１番地
TEL.0288-21-5148　FAX.0288-21-5105
E mail　jinken-danjo@city.nikko.lg.jp

平成30年度

日光市「女性の活躍」応援プロジェクト

事業報告書

平成３０年度キャリア・マネジメント講座受講生

ねらい

我が国では、子どもを産む中心の年代である若い女性の数が大幅に減少し、「将来消滅する可能性がある自治体が約半数に達する」と予測されています。このため、国の成長戦略などで「女性の活躍」の重要性が示され、女性の継続就労を促進し、女性が活躍しやすい職場風土づくりに向けた取組が必要とされています。

そこで、日光市では潜在能力である「女性の力」を引き出し、女性がその持てる能力を経済活動で十分に発揮することで、さらなる経済の発展につながるよう取り組んでまいります。このプロジェクトを通じて、多くの企業の皆さまや関係団体のみなさまに「女性の活躍」を推進していただくとともに、女性登用促進や管理・経営者の意識改革など働く女性を応援する取組を推進し、世界に向かって誇れるまち「日光」を目指します。

発 行
日 光 市

日光市「女性の活躍」応援プロジェクト
事業報告書

事業概要＆報告

プロジェクトⅠ　ワークライフバランスセミナー

健康福祉部　人権・男女共同参画課

長時間労働の是正や多様な働き方の構築により、働く女性を支援する社会的機運の醸成を図ります。

日　程　9月28日（金）
会　場　大沢地区センター　会議室
講　師　東京大学　大学院教授　瀬地山　角（せちやま・かく）氏
テーマ　「笑って考えよう！社会を救うワーク・ライフ・バランス」
参加者　54名（女性33名、男性21名）※一般の方対象

瀬地山　角 氏

内容
○男性は子供を産むことはできないが、子育てはできる。「女性だから向いている」ということはない。
○日本での男性の家事・育児の時間は非常に少ない。社会的に問題にすべき基準にある。家事・育児は「手伝う」ではなく、分担して「やる」もの。
○子を産んだ方が職場に復帰して正社員として働けば、定年退職までに１億稼ぐことができる。妻が仕事をしているときに夫が家事をすれば、その時の時給は残業代とは比べ物にならないほど高い。
○子育てなどの「コスト」がかからない労働者だけが働く前提の環境を変えることが、男性のワークライフバランスに繋がる。

【参加者☆VOICE】
◎話がおもしろく、最先端で勉強になりました。
◎楽しく心に響くお話しでしたので、テレビで拝見させていただきたいです。
◎すごく面白かったです。本音で語るのが素晴らしい。

プロジェクトⅡ　女性活躍・人材確保セミナー

産業環境部　商工課

働き方改革に伴い、業務などの改善が必要性を増している現在、女性をはじめとする人材を活かすヒントを学び、多様な人材の活躍推進と企業の発展を図ります。

日　程　11月12日（月）
会　場　日光商工会議所　今市事務所
講　師　（株）東レ経営研究所　ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部長
宮原 淳二（みやはら・じゅんじ）氏
テーマ　「多様性を活かす企業の取り組みとは」
参加者　25名（女性4名、男性21名）※企業の経営者や人事労務部門の管理者及び担当の方対象

宮原　淳二 氏

内容
人口減少に伴う人材不足の時代において、人材の多様化が加速していくことが見込まれることを踏まえ、多様性を活かした企業の取組の事例やヒントについてお話しいただきました。
多様な働き方をする人が、今後、より一層増加することの影響として、これまで以上に「対話」が重要視されることや、女性や高齢者の社会参画のさらなる促進が想定されることから、各個人のライフイベントを考慮した職場運営が重要になることなどを学びました。

【参加者☆VOICE】
◎企業の形が大きな変革を迎える時期と感じています。とても勉強になりました。
◎「残業・休日問題について」の話が大変参考になりました。

プロジェクトⅢ　キャリア・マネジメント講座（全2回）

健康福祉部　人権・男女共同参画課

企業等で活躍を期待する女性の能力開発、意識改革の機会を提供し、さらに企業間交流によるネットワーク形成を図ります。

日　程　①11月1日（木）、②11月13日（火）　**会　場**　日光商工会議所　今市事務所
講　師　（株）あしぎん総合研究所　野内 比佐子（やない・ひさこ）氏
テーマ　①「ヒューマンスキル（対人関係力）向上研修」　②「強みを活かす戦略的キャリア研修」
参加者　①33名　②33名　延べ66名 ※女性限定

野内　比佐子 氏

内容
◎2回の研修を通して、女性がより活躍できるためのスキルや考え方を学びました。ワークショップ形式により、個人の現状を自分で確認しながら、今の時代における働き方を考えました。さらに、グループでの意見交換で異業種の方々と交流を深め、仕事をしていく上で必要になるネットワークを広げることができました。
<参加者意識調査より　～受講前後の比較より～>
・リーダーなど責任あるポストにつくことへの自信がアップ UP
・どのように仕事を続けるか目標が見えてくる UP
・重要な仕事の企画・運営をしてみたいと思うようになる UP

【参加者☆VOICE】
◎とても楽しく学ぶことができました。苦手だと思っていた人間関係に、今後活かしていきたいです。
◎様々な職種の方とお話できて、とても勉強になりました。
◎自分自身について、職場での周囲との関係について改めて考える機会となりました。
◎自分の性格を見直す良い機会でした。仕事に対するモチベーションUPにもなりました。

プロジェクトⅣ　女性団体活動支援

健康福祉部　人権・男女共同参画課

各プロジェクト事業、フォーラムなどを団体の方と連携して実施することにより、女性活躍推進意識を高めます。

■日光市女性団体連絡協議会（11団体）

各団体同士の連携・交流や、男女共同参画社会づくりに向けた、全国規模で開催される会議への参加など、各種研修会を実施しました。

プロジェクトⅤ　男女共同参画推進事業者表彰

健康福祉部　人権・男女共同参画課

「男女共同参画社会づくりフォーラムin日光」において、女性活躍推進に向けて優れた取組を行う事業者を表彰し、さらに、優良事例の情報を発信することで、女性活躍推進に向けた機運の醸成を図ります。

■平成30年度受賞者

・株式会社　金谷ホテルベーカリー
半日単位の休暇制度、女性の積極的な管理職登用、経営方針に女性管理職の積極的登用について記載、研修に受講しやすい環境づくりなど

・株式会社　春茂登旅館
管理職へのセクハラ・パワハラへの意識啓発、時間単位の休暇制度、女性の積極的な管理職登用、研修・検定を通じた人材育成など

・株式会社　あさやホテル
マネジメント研修の実施、連続取得できるリフレッシュ休暇の設定、女性の管理職登用に繋がる制度の創設、積極的に研修を開催し、受講させるなど、女性の人材育成への取組

プロジェクトⅥ　男女共同参画セミナー高校生編

健康福祉部　人権・男女共同参画課

高校生の段階から、人生全体を通した働き方や生き方を考えていくことの大切さとともに、新しい働き方の創り方について学びます。

日　程　11月6日（火）　**対　象**　栃木県立今市高等学校　第1学年　男女200名
講　師　C．K．コンサルティング&コーチング　近藤　千園（こんどう・ちその）氏
テーマ　「キャリアデザイン～ワークライフバランスによるこれからの働き方～」

近藤　千園 氏

内容
・働く妊婦100人のうち、一人目の出産で退職する日本の女性は、47人です。
・今の企業の動きは、“男性・長時間・同質性”がキーワードの「人口ボーナス期」から、“男女・効率よく・多様性”がキーワードの「人口オーナス期」に変わっています。
・高校生の皆さんが就職する頃には、制約（子育て・介護）のない人財よりも制約のある人財の割合が高くなります。
・キャリアデザインについて、自分が「本当はこうしたい」という理想を明確にし、現在と理想との違いに気づき、どうしたら近づくかを考え行動することが大切です。